

学校教育目標 「生徒が主役となって輝く教育の創造」
めざす生徒像 「心を磨き合える生徒 夢や目標に向かって挑戦し続ける生徒 ふるさを誇りに思う生徒」



安芸太田中学校通信

令和6年度 第1号 <令和6年4月12日>
安芸太田町立安芸太田中学校
TEL (0826) 32-2244 FAX (0826) 32-2987
URL <http://cms.gakko.akiota.jp/akiotachu/>
E-mail akiotachu@gakko.akiota.jp

令和6年度のスタートにあたって

一昨年度末に地域の方と一緒に植樹をした桜の樹には、3月末ぐらいから花びらが開きはじめ、令和6年度のはじまりを告げてくれていました。この桜の樹が象徴しているように、今年度も保護者や地域の皆様のご支援をいただきながら、生徒一人一人の可能性を伸ばすため、本校教育活動の充実に向けて取り組んでいきます。

昨年度、学校教育目標を「生徒が主役となって輝く教育の創造」と改めて教育活動を進めてきましたが、これを今年度も継続し、「生徒が主役」となる学校づくりを目指していきます。その土台となる「深い学びを引き起こす授業づくり」と「一人一人が大切にされ、互いに高め合える集団づくり」は本校取組の肝となります。これらをさらに着実に進めていくために、今年度は取組のゴールに向け、生徒への動機づけを大切にしていきたいと考えています。

また、昨年度、広島県教育委員会より指定を受けた「不登校SSR推進校」が継続となりました。昨年度は試行錯誤の1年目でしたが、今年度はその成果を生かし、「深める」「拡げる」をキーワードに取組を充実させていきます。そして、生徒の社会的な自立に向けて、支援体制の充実と機能化を図っていきます。特に今年度は、校内を巡回することで生徒の様子を見とり、気になる状況があれば担任等と連携して、早期の支援につなげていくことを進めていきます。また、校区内小学校に担当者が定期的に訪問し、小中連携を強化していきます。

この他にも、協調学習による「対話的な学び」の充実、地域とつながる地域貢献活動（ボランティア活動）の充実、生徒会活動や部活動の充実にも引き続き取り組んでいきます。今年度も、よろしくお願ひします。



令和6年度広島県教職員異動で安芸太田中学校へ異動して来られた先生方

| | |
|------|--------|
| 指導教諭 | より（国語） |
| 教諭 | より（音楽） |
| 教諭 | （理科） |
| 教諭 | （数学） |



令和6年度 安芸太田中学校教職員

| 職名 | 主任等 | 氏名 | 教科/部活動 |
|------|-------------------|------------|-----------------|
| 校長 | | 林 健太郎 | |
| 教頭 | | 今田富士男 | |
| 事務長 | | | 本務校 加計小 |
| 指導教諭 | 教務主任 道徳教育推進教師 | | 国語 卓球部・駅伝部 |
| 教諭 | 生徒指導主事 | (3年担任) | 社会 バレー部 |
| 教諭 | 「学びの変革」推進担当教員 | (2年担任) | 数学 剣道部 |
| 教諭 | | | 数学 野球部 |
| 教諭 | | | 本務校 加計高 |
| 教諭 | ICT教育推進担当 | | 理科 卓球部 |
| 教諭 | 進路指導主事 | | 音楽 剣道部 |
| 教諭 | 研究主任 人権・平和教育担当 | | 美術 バレー部 |
| 教諭 | 学年主任 | (ひだまり学級担任) | 保健体育 野球部・駅伝部 |
| 教諭 | 体づくり推進リーダー | | 保健体育 卓球部・駅伝部 |

| 職名 | 主任等 | 氏名 | 教科/部活動 |
|-----------|----------------------------------|----|--------------|
| 教諭 | | | 英語 地域活動部 |
| 教諭 | 司書教諭 支援コーディネーター | | 英語 バレー部 |
| 養護 教諭 | 保健主事 教育相談担当 特別支援教育コーディネーター | | 保健 地域活動部 |
| 事務 主任 | | | |
| 非常勤 講師 | | | 技術 毎週火曜日 |
| 非常勤 講師 | | | 家庭科 毎週火曜日 |
| 非常勤 職員 | スクール カウンセラー | | |
| 非常勤 職員 | スクール ソーシャルワーカー | | |
| 非常勤 職員 | スクールサポート スタッフ | | |
| ALT | | | |
| ALT | | | |
| ALT | | | |

体罰・セクハラ相談窓口は、
今田富士男教頭と高田純子養護教諭です。

国際交流 次へのステージ

令和2年の冬、当時は新型コロナウイルス感染症が流行し、三密回避など感染症対策にピリピリとしていた時期でした。このような中でも、子供たちの学びを止めない取組の一つとして、オンラインでの遠隔授業の可能性を探っていました。そのような中、オーストラリアクィーンズランド州の Yeppoon State High School（イエプーン州立高校）とのオンラインセッションが実現しました。当初は、手探りでのセッションで、日豪の教育システムの違いを少しずつ調整しながら、オンライン交流を継続してきました。

あれから3年半が経ち、コロナ禍前には実施していたイエプーン高校生徒の日本への修学旅行が再開され、安芸太田中学校を訪問したいとの依頼を受けました。訪問日は日本での年度替わりにあたる3月でしたが、ぜひこの訪問を実現したいという思いで準備を進め、卒業生を合わせて29名の生徒が参加しての交流会が実現しました。

筒賀三谷八幡宮で、イエプーン高校の生徒と引率教員18名をお迎えし、三谷神楽団の皆様のご協力で「八岐大蛇」を観覧しました。鑑賞中は迫力のある舞に歓声や拍手が起こっていました。舞を見終わってから、お面や神楽衣装の試着、大蛇に撒かれるなどの体験をして八幡宮をあとにしました。安芸太田中学校へ徒歩で移動したあとは、体育館でゲームなどの交流をして、ランチを一緒に食べてお別れをしました。

これまでオンラインでの交流を行ってきたので、スムーズに会話をすることができていました。英語への興味関心も高まり、もっと英語を勉強して海外の人とたくさん交流したいという感想が多く聞かれました。



親子クリーンハイキング in 筒賀

3月17日(日)、安芸太田町子ども会連合会主催の親子クリーンハイキングが行われ、安芸太田中学校の生徒がボランティアスタッフとして参加しました。今年は、筒賀地域での清掃活動で、大きなゴミはありませんでしたが、側溝などにおちていたゴミを丁寧に拾って歩きました。

クリーン活動のあとはお弁当を食べて、参加者の皆さんでミニゲームをして親睦を深めました。



生徒会スローガン旗完成!!

3年生は、春休み中に登校をして、友笑祭のダンスを考えたり、生徒会のスローガン旗を作製したりしました。

令和6年度の生徒会スローガンは、「創」です。真っ白な布に、大きく迫力のある字体で書かれた文字は見応えがあります。このスローガン旗は友笑祭でも会場に貼り出されます。是非、友笑祭を楽しみにしてください。



行事予定

※ 「SC」はスクールカウンセラー、「SSW」はスクールソーシャルワーカーを示しています。

- 8日(月) 就任式・始業式
- 9日(火) 入学式
- 10日(水) 学校オリエンテーション
- 11日(木) SSW勤務日
- 12日(金) 交通安全教室(1年)
- 16日(火) 全国学力・学習状況調査(3年)
※生徒質問紙調査
SC勤務日
- 18日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
※国語・数学(筆記)

- 18日(木) PTA運営委員会
- 19日(金) 身体測定 視力・聴力検査
友笑祭結団式
- 20日(土) 授業参観 PTA 総会 学級懇談会
- 22日(月) 代休日
- 24日(水) 尿検査
- 25日(木) 心電図検査(1年)
- 26日(金) 生徒総会
- 27日(土) 審判講習会